



'19/冬号 VOL.27

# おかもと陽子

守りたい!あなたの生命、生活を



公明党  
通信

ご希望  
お寄せ  
ください



日々の活動は、facebookでもご覧いただけます。

発行 岡本陽子 宗像市自由ヶ丘7-6-1 Mail:taiyoudaisukinayoko@gmail.com

責任者 ☎0940-25-5344 URL:http://www.okamoto-youko.jp

## 幼児教育・保育無償化に関する実態調査を行いました

(対象者：300万人)

子どもを幼稚園・保育園に通わせている保護者、保育園・幼稚園でのアンケート調査実施、中間報告です。

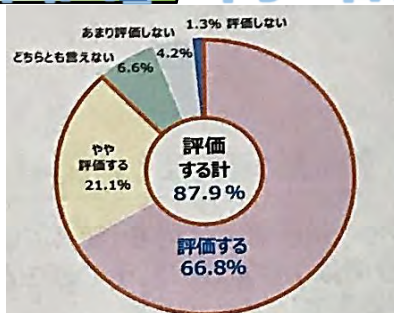
### 幼保無償化「評価」約9割



施設での調査



保護者にヒアリング



今後取り組んでほしい政策 (複数回答)

- 保育の質の向上 — 47.5%
- 0~2歳児の無償化の対象拡大 — 37.8%
- 待機児童対策 — 34.1%
- 給食費の軽減 — 32.7%
- 障がいのある子どもの教育・保育の充実 — 28.2%
- 医療的ケアを必要とする子どもへの支援の強化 — 25.2%
- 幼稚園類似施設の負担軽減 — 12.7%
- その他 — 8.7%
- 特になし — 5.8%

障がいのある子どもには、その可能性のある子どもも含まれる

今年1年の駅頭、街頭演説、研修会、実態調査、視察、議会報告会など議員活動の中から、一部を紹介します。

#### 街頭演説 (毎月3~4回実施)

#### 女性議員研修会 (12月)

#### 産後ケア、実態調査 (12月)

#### ピンクリボン街頭演説 (10月)



議員活動の向上目指し、高瀬参議院議員からの国の動向、活動報告。議員活動報告を実施。宗像市の虐待防止、子育て支援センター設置について報告した



#### 虐待防止街頭演説 (11月)



(石松議員、女性党員とともに実施)



改正母子保健法が成立。これまで生後4か月まで実施されていた「産後ケア事業」を生後1年間に延長し、産後ケアを自治体の努力義務とした。産後ケアを実施している福岡市東区、マリイのお家を視察。現状と課題を聞いた。現場の声を聴く、公明党女性議員に期待するとの声をいただいた。

(高瀬参議院議員、川上福岡市議、岡本の3人で調査)

裏面に一般質問を掲載しています。是非ご覧ください。

# 一般質問

## 12月定例会

岡本 陽子

《社会常任委員会委員長》《議会運営委員会副委員長》



### 子ども基本条例は何のためにあるのか

子ども基本条例は、「子育てのまち」を誇る本市にとって重要な役割を果たす条例であると言えるが、形骸化しているように感じる。制定から7年間の時が経過し、子どもを取り巻く環境も変化している。子育ての現場での事件、事故を防ぎ子どもの生命を守ることが重要であるが、それが困難と感じる状況もある。そうした時代や環境の変化に伴い子ども基本条例の見直しをする時期にきているのではないのか。



「宗像市子ども基本条例とは」  
子どもの基本条例の中でも「子どもの権利」「大人の責務」「子どもにやさしいまち」を3つの柱とした総合条例で、全国で29番目、平成24年3月30日に制定、平成25年4月1日から施行されている。



Q.1

回答

虐待の対応が求められる場所や対象が多岐に渡り内容も複雑になっている。虐待や体罰に関する内容の追加や見直しが必要ではないか

多岐に渡る子どもの環境が複雑化している。職員や子育てに関わってこられた皆さんと話し合いながら、現在の私たちの今、置かれている状況に適した状況であるかどうかということも全庁的に検討し、見直すべきところは見直すとの市長答弁があった。

### 水害対策、このままでよいのか



2018年7月豪雨、JA前

本年9月から10月にかけて関東、北陸、東北地方を襲った台風では多くの河川が氾濫、堤防決壊させる状況となり避難生活のあり方に教訓を残した。本市においても、豪雨の度に釣川に流入する小河川において内水はん濫が発生し、浸水被害が発生している。情報伝達の時期と方法、避難所の課題、遊水地設置の考え方について聞いた。県が管理する釣川に係る対策が重要。洪水調節機能の重要性は認識しており、県と連携し続けると答弁があった。

出会い

語らい

～原点とは何かを考えた1年～

ラグビートップリーグ宗像サンックスブルース出身の選手、ジェイミージョセフ監督のラグビーワールドカップでの活躍は、宗像市民として誇れるものであった。

一方では、10月「行きすぎた英才教育」と報道された認可保育所での事件は、子育て支援を誇りとしてきた宗像市政の根底を覆すものであった。この二つの出来事から学び、宗像市の今後の発展のため活かしていくのが議員としての役割だと感じている。公明党は11月17日、結党55周年を迎えた。“市民の小さな声を大切に”この姿勢を貫き政策実現することが、原点であることを忘れないようにしたい。